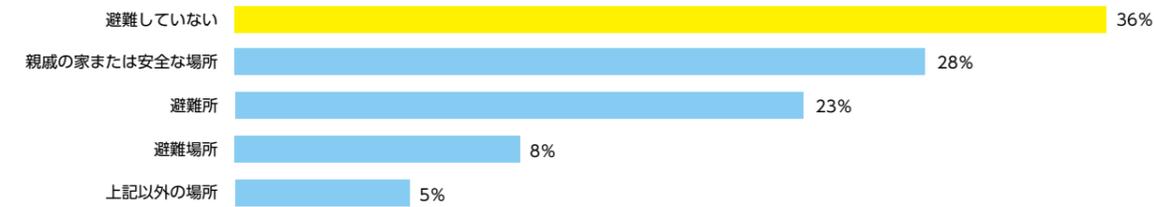
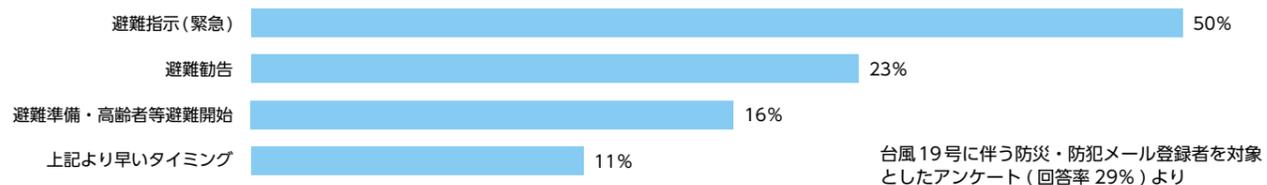


台風19号が接近したときあなたはどうしてた？

Q 利根川・渡良瀬川・思川の浸水想定区域に住んでいる人にお聞きします。避難情報が発令されたとき、どこに避難しましたか？(対象者数：485人)



Q 上の質問で避難した人にお聞きします。どのタイミングで避難を開始しましたか？(対象者数：283人)



みんなの疑問 こういう場合は？

いろんな情報が入ってきて、いつ避難したらいいのかかわからない

車の場合は「避難準備」、徒歩で家の近くに避難する場合は「避難勧告」で避難してください

避難所が満員で入れなかった場合はどうすればいいの？

避難＝避難所ではありません。安全が確保できる知人や親戚の家、車中避難なども検討しておきましょう

避難勧告が出たら全員が避難しなければいけないの？

浸水想定区域に住んでいる人は安全な場所に避難しましょう。浸水深が3m未満の場合は、2階以上の安全な所へ

防災行政無線が聞こえず、何が起きているのか分からず不安になる

フリーダイヤル(P14参照)のほかに市ホームページや市アプリなど多くの手段で情報を発信しています

逃げ遅れゼロを目指して

昨年の台風19号では、1万人を超える市民の皆さんが避難した一方で、多くの市民が浸水想定区域内に残ったままの状況でした。また、多くの避難所・避難場所入りきれない状況が発生するなど、たくさんの課題が浮き彫りになりました。

このため市では、Twitter等のSNSを活用した情報発信を新たに始めるとともに、避難所・避難場所等の見直しを行うなど、逃げ遅れゼロを目指してさまざまな改善に取り組んでいます。

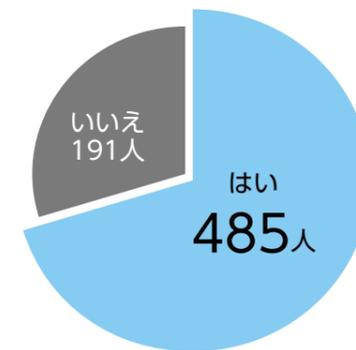
特集



水害から命を守るために

これからの季節は大雨等による水害の危険性が高くなります。市では、皆さんが今までに経験したことのないような大雨を想定し、浸水想定エリア等を見直した洪水ハザードマップ・ガイドマップを作成しました。避難経路の確認や持ち出し品を準備して、いざという時のために備えましょう。

あなたは利根川・渡良瀬川・思川が氾濫した場合の浸水区域にお住まいですか？



台風19号に伴う防災・防犯メール登録者を対象としたアンケート(回答率29%)より



昨年10月に関東甲信・東北地方に大きな被害をもたらした台風19号。市でも、利根川の水位が氾濫危険水位を超え、堤防が決壊する恐れがありました。幸いにも氾濫という最悪の事態は逃れましたが、水害に対する備えと対応に非常に多くの課題を残す結果となりました。災害の規模が大きくなり、頻度も高まっているため「今まで大丈夫だったから」という考えは絶対に通用しません。災害に対する備えの第一歩は、自身の被災リスクを知ることです。水害の脅威が迫ったとき、あなたとあなたの大切な人の命を守るために、どう行動するべきか考えてみましょう。